

大垣真宗学院同窓会

「新学舎建設募金事業」趣意書

貴殿には益々ご清祥のことと拝察し、お慶び申し上げます。

昨年は学院創立60周年並びに学院同窓会設立5周年記念事業を、学院と共催いたしましたところ、全国各地より大勢の御来賓、同窓生の参集を得て、稀有な節目を祝ったことであります。その節は誠に有難うございました。

さて大垣真宗学院では、平成26年11月末の完成に向けて、大垣別院境内地において念願の新学舎建設工事が進められております。

この建設は、混迷の時代のただ中であって、宗祖親鸞聖人が開顕せられた本願念仏のみ教えのもと、自信教人信の誠を尽くす人材を育成するため、学院の学習環境の整備を図る一大事業であります。大変厳しい学院運営の中、長年にわたって経費節減に努めて基金を積み立て、計画を練ってこられた歴代学院長と指導主任をはじめとする関係各位のご尽力の賜物であります。

顧みますと、学院は60年余の長い歴史を持ち、全国各地からの700余名の卒業生を輩出し、宗門学事機関の範としてその功績を認められてきたところでありますが、私たちも経験してきた通り、薄暗い別院の一室を間借りた、専用の書架、コピー機、湯沸し器もない学習環境は決して十分とは言えないものであり、同窓会としましては、新学舎建設は待ち望んでいた正に慶事であります。一方で建設計画に歩調を合わせるかのような消費税増税、建設諸経費の急騰などにより、基金で建設費を賄うとはいえ、実情は薄氷を踏む思いとも聞き及んでおります。

そこで、私たち同窓会としても、今回の記念すべき新学舎建設の節目に当って、現在・未来の学院生育成の一助になることを発願し、次頁のように、大垣真宗学院同窓会「新学舎建設募金事業」実行委員会を立ち上げ、同窓生はじめ各方面より広くご浄財を募ることといたしました。

時節柄、出費多端の折とは存じ、誠に恐縮の至りではありますが、何卒、本趣旨に賛同を賜り、同窓生諸氏をはじめ各界の多大なるご支援、ご協力を賜りたく、伏してお願い申し上げます。次第であります。

合掌

尚、本事業の取り組みについては、本年度同窓会総会において提案いたし、満場一致でご承認いただきましたことを申し添えいたします。

平成26年9月1日

大垣真宗学院同窓会長

大垣真宗学院同窓会「新学舎建設募金事業」実行委員長

高垣 康平